

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団
2024 年度 事業計画

1. 事業計画

2024 年度も出捐会社第一三共株式会社から 2 億円の寄付金受領を予定しており、財団運営における財務 3 基準の遵守を考慮し、2023 年度と同様の研究奨励金等の助成事業を計画した。

1) 研究奨励金等交付金の交付

合計 1 億 1,700 万円

選考委員会で選考され、理事会で決定された交付対象者に研究奨励金等を交付する。

なお、募集に関する必要事項については選考委員会に一任することとする。

① 募集方法

募集案内を全国の研究機関に送付、また学術雑誌、関連学会、財団 Web サイトに掲示し、公募

② 応募資格

- ・研究奨励金：臨床薬理研究に従事、またはそれを志す 45 歳未満の研究者。
- ・海外留学助成金：臨床薬理研究を志す 45 歳未満で、海外での研究を希望する者。
- ・若手研究支援：40 歳未満の臨床薬理研究に従事、またはそれを志す国内の研究者で実施責任者。臨床薬理研究へのステップを前提とした基礎研究も対象とする。

③ 推薦者

- ・研究奨励金/海外留学助成金：所属機関長（学長、学部長、研究科長、病院長、研究所長等）。教授の役職名では推薦できない。
推薦件数は 1 推薦者 1 件とする。ただし、研究奨励金においては小児臨床薬理研究については 1 推薦者につき別途 1 件の推薦が可能とする。
- ・若手研究支援：教授等の組織長、推薦件数は 1 推薦者 1 件とする。

④ 募集期間：6 月～8 月

⑤ 交付件数および交付額

- | | | |
|---------------------------|-----------------------|----------|
| ・研究奨励金(小児臨床薬理学枠含む) | 27 名程度 (1 名 300 万円) | 8,100 万円 |
| ・若手研究支援(2023 年度、2024 年度) | 各 6 名程度 (1 名 50 万円/年) | 600 万円 |
| ・海外留学助成金(2023 年度、2024 年度) | 各 2 名 (1 名 750 万円/年) | 3,000 万円 |

2) 2024 年度（第 35 回）財団賞の交付

合計 800 万円

財団賞選考委員会で選考され、学会および財団理事会で承認決定された交付対象者に第 45 回日本臨床薬理学会学術総会(さいたま、2024 年 12 月)において盾を授与すると共に研究奨励金等を交付する。

① 募集方法：学会 Web サイトおよび学会機関誌「臨床薬理」に募集案内掲載

② 募集期間：2024 年 4 月～6 月

③ 交付件数

・ 学術奨励賞（研究奨励金）	2名（各 300 万円）	600 万円
・ 学術論文賞（副賞）	3名（各 50 万円）	150 万円
その他の経費：選考委員会開催費用等		50 万円

3) 研究報告集「臨床薬理の進歩」の発刊 作成費合計 910 万円

① No. 45 発刊

編集会議（4月6日開催）等を経て2024年6月発刊し、全国約1,800か所に送付する。

掲載論文 2021年度研究奨励金交付論文	18編
2020年度研究奨励金交付論文	1編
海外留学助成金報告	1編
計	20編

② No. 46 発刊準備

研究論文等の入手を2024年8月より開始する。

掲載論文 2022年度研究奨励金交付論文	20編
2021年度研究奨励金交付論文	2編
2020年度研究奨励金交付論文	2編
2019年度研究奨励金交付論文	1編
海外留学助成金報告	3編
計	28編

4) 第17回 研究報告会の開催 開催費用合計 704 万円

日 時：2024年11月12日(火)

場 所：経団連会館

出席者：理事、監事、評議員、選考委員、全国の臨床薬理研究に関する有識者、

第17回 研究大賞受賞者、第一三共(株)研究開発部門 等

スケジュール（案）：

14:00～15:00	理事会
15:30～19:00	研究報告会
第1部	研究大賞受賞者表彰式
第2部	研究報告会
第3部	情報交換会

5) 第8回 臨床薬理学集中講座の開催 開催費用合計 798 万円

臨床薬理学集中講座は、2024年度もWEB開催とする。

オンデマンドによる11講義の受講、ファシリテータ2名体制での2回のWEB会、「臨床試験企画立案演習」を実施する。

開講の趣旨：

医療の中で薬物療法とそれを支える臨床薬理学の重要性が益々高まっており、臨床薬理学の将来を担う人材の育成が求められている。本講座は、若手の医師および薬剤師等が臨床薬理学を体系的・集中的に研鑽する場として、薬物療法の基本を実践し臨床試験を通じたエビデンスの創造・発信のできる医療従事者・研究者の育成を目指して開講する。

開催日時：講義ビデオ視聴（オンデマンド）	2024年7月初旬～8月中旬（予定）
第1回Web会（Zoom）	2024年7月26日（金）18：30～20：30
第2回Web会（Zoom）	2024年7月31日（水）18：30～20：30
企画立案演習（Zoom）	2024年9月1日（日）9：00～18：00

内 容：講義として「臨床薬理学とは」、「臨床試験デザイン」、「研究倫理」、「生物統計学（基礎編）」、「生物統計学（実践編）」、「薬理遺伝学」、「医薬品有害反応」、「薬物相互作用」、「バイオマーカー」、「臨床薬物動態学と薬物投与設計」、「医薬品開発・レギュラトリーサイエンス」の11講座。1講座あたりの講義時間は60分以内。アイスブレイクを目的とした2回のWEB会（患者同意説明文書の作成等）、加えて演習として「臨床試験企画立案演習」を実施する。

募集人数：40名程度（集中講座実行委員会で検討）

そ の 他：受講修了者のネットワーク形成を支援するため、2024年12月に開催される日本臨床薬理学会学術総会（さいたま）の会期中に、集中講座受講者を主な対象としたフォローアップ・セミナーを開催することを計画している。
同フォローアップ・セミナー対策費用も2024年度収支予算として計上している。

6) 財団設立50周年記念事業 合計 814万円

2024年度は、年間3回の検討委員会（うち2回はWEB開催）並びに3回の個別会合の実施を予定している。また、記念誌作成に向け2つの座談会開催、集中講座記録集の作成、集中講座受講生アンケート結果の分析、研究奨励金交付者へのアンケート実施を推進する。

- ・業務委託費（集中講座受講生アンケート分析、研究奨励金交付者アンケート、座談会運営費 等） 243万円
- ・検討会/座談会費用（検討委員会3回、個別会合3回、座談会2回） 471万円
- ・積立金 100万円

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団 2024 年度収支予算(損益計算方式)

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計予算額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,960,000	7,840,000	9,800,000
基本財産受取利息	1,960,000	7,840,000	9,800,000
② 受取寄付金	182,000,000	18,000,000	200,000,000
受取寄付金	182,000,000	18,000,000	200,000,000
③ 雑収益	1,500	0	1,500
受取利息	1,500	0	1,500
経常収益計	183,961,500	25,840,000	209,801,500
(2) 経常費用			
① 事業費	(192,716,000)	(0)	(192,716,000)
給料手当	7,728,000		7,728,000
業務委託費	10,027,000		10,027,000
研究奨励金	87,000,000		87,000,000
海外留学助成金	30,000,000		30,000,000
財団賞	8,000,000		8,000,000
会議費	1,919,000		1,919,000
旅費交通費	7,335,000		7,335,000
広告費	390,000		390,000
諸謝金	3,620,000		3,620,000
賃借料	7,147,000		7,147,000
印刷製本費	9,225,000		9,225,000
通信運搬費	414,000		414,000
研究報告会費	7,039,000		7,039,000
集中講座費	7,161,000		7,161,000
50周年記念事業	5,711,000		5,711,000
② 管理費	(0)	(15,569,000)	(15,569,000)
役員報酬		2,406,000	2,406,000
給料手当		1,932,000	1,932,000
業務委託費		2,353,000	2,353,000
福利厚生費		1,777,000	1,777,000
会議費		791,000	791,000
旅費交通費		2,053,000	2,053,000
諸謝金		124,000	124,000
調査費		51,000	51,000
図書費		3,000	3,000
賃借料		1,765,000	1,765,000
消耗什器備品費		100,000	100,000
消耗品費		350,000	350,000
印刷製本費		248,000	248,000
通信運搬費		492,000	492,000
減価償却費		359,000	359,000
支払会費		1,000	1,000
租税公課		464,000	464,000
雑費		300,000	300,000
経常費用計	192,716,000	15,569,000	208,285,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,754,500	10,271,000	1,516,500
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,754,500	10,271,000	1,516,500
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	8,754,500	△ 8,754,500	0
当期一般正味財産増減額	0	1,516,500	1,516,500
一般正味財産期首残高	7,008,367	102,555,350	109,563,717
一般正味財産期末残高	7,008,367	104,071,850	111,080,217
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	1,960,000	7,840,000	9,800,000
一般正味財産への振替額	△ 1,960,000	△ 7,840,000	△ 9,800,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	195,057,442	770,741,558	965,799,000
指定正味財産期末残高	195,057,442	770,741,558	965,799,000
III 正味財産期末残高	202,065,809	874,813,408	1,076,879,217